

ります。地元業者を優先させる話
は私もその様に考えております。

質問 高齢化が確実に進行して
いる今、少しの訓練や運動により
元気で楽に生活ができる等介護予
防の重要性が見直されています。

前沢区では社会福祉協議会主催で
50か所以上の地域で『ござえん茶』
といって女性の皆さんが高齢者にお茶を提供し大変喜ばれています。この様な場を利用してはと思いますが、国の制度を合わせ市の対策を伺います。

市長 あまり制度にこだわることなく各地区で工夫して実施している所です。前沢の『ござえん茶』に介護予防を取り入れる話は大変良いお話なので、取り組みを進めて行きたいと思っています。



白山大曲地区「すみれ会」ござえん茶風景

地域医療の方向と病院経営



あべ こうぞう
安部 議員

地方自治体の半径50キロ前後の
地域医療圏で見ると各病院の「選
択と集中」に任せるだけでは、住
民の医療ニーズとミスマッチが発
生し、救急医療ネットワークの不
備や小児科、産科医の不足がその
典型であるとしており、自治体病
院の使命は、このミスマッチを健
全経営の下で解消することにある
としています。（総務省地方公営
企業アドバイザー・松山幸弘氏）

質問 地域医療の現状と課題、
特に県立病院、市立病院、民間病
院等の連携について伺います。

市長 奥州市には公立が県立2、
市民病院2、診療所合計8つがあ
り、民間医療機関では病院6、医
院が69あり、金ヶ崎町を含めて胆
江医療圏としては盛岡市に次ぐ医
師の高い充足率となっております。
しかし、医療機関は市内の中心部
に集中し市民病院では医師確保が
喫緊の課題です。

このような状況をふまえて、市

の医療・保健事業の見直し、効率
的な医療機関毎の連携と地域全般
に対する医療の見直しを図るため
に、現在奥州市地域医療計画策定
を進めています。

又各市各種団体から委員を選出
し地域医療計画懇話会を発足させ、
専門的内容の意見を頂き、計画策
定期間については6月議会前に出
来るよう進めています。

中身については、県の保健医療
計画や地元医師会、県立病院との
連携を密にし作成していきます。

医療だけでなく保健行政、福祉
の分野についても市民の健康を守
るためその地域にかかる医療部分
と共に補いながら進めていきます。

特に医療機関については県立胆
沢病院を頂点とし、その機能、急
性期医療等の最先端をお願いし、
連携し市立病院等の役割を果たし
たい。そのためにも水沢病院は経
営健全化を大命題とし、適切な役
割を果たすために、病床数、診療
科等の柱を明確にし、医師確保に
についても様々なチャネルを活用
して進めます。また医療機器につ
いては最新鋭のコンピュータ断層
撮影装置CTが入ったので大変好
評であり、今後MRI等の更新を
検討し診療に万全を期していきま
す。

財政問題 議員の発言について



さとう くにお
佐藤 邦夫
議員

質問 地方交付税が減少する中、
財源確保のためにアンテナを高く
広くめぐらし、知恵やアイデアを
捻り出し、すくないチャンスを実
にゲットできるように、普段か
ら調査・研究をしながら準備して
おく必要があるのではないかと。具
体的には北上市で導入している
「ミニ公募債」、アメリカで多く
導入されている「レベニュー債」、
又大きな資金調達という面では劣
るかも知れないが、市民・住民の
政治参加を促進できる「寄付によ
る投票」といって、早くは長野の
泰阜村やニセコ町、最近では葛巻
町などで導入している。検討して
みてはいかがか。

市長 今まで独自の資金調達と
いう面は少なかったと思う。今後
は北上の公募債や葛巻の「寄付に
よる投票」など含めて積極的に検
討してみたい。市職員にもそのよ
うな意識を持たせていきたい。

質問 二元代表性の一方である